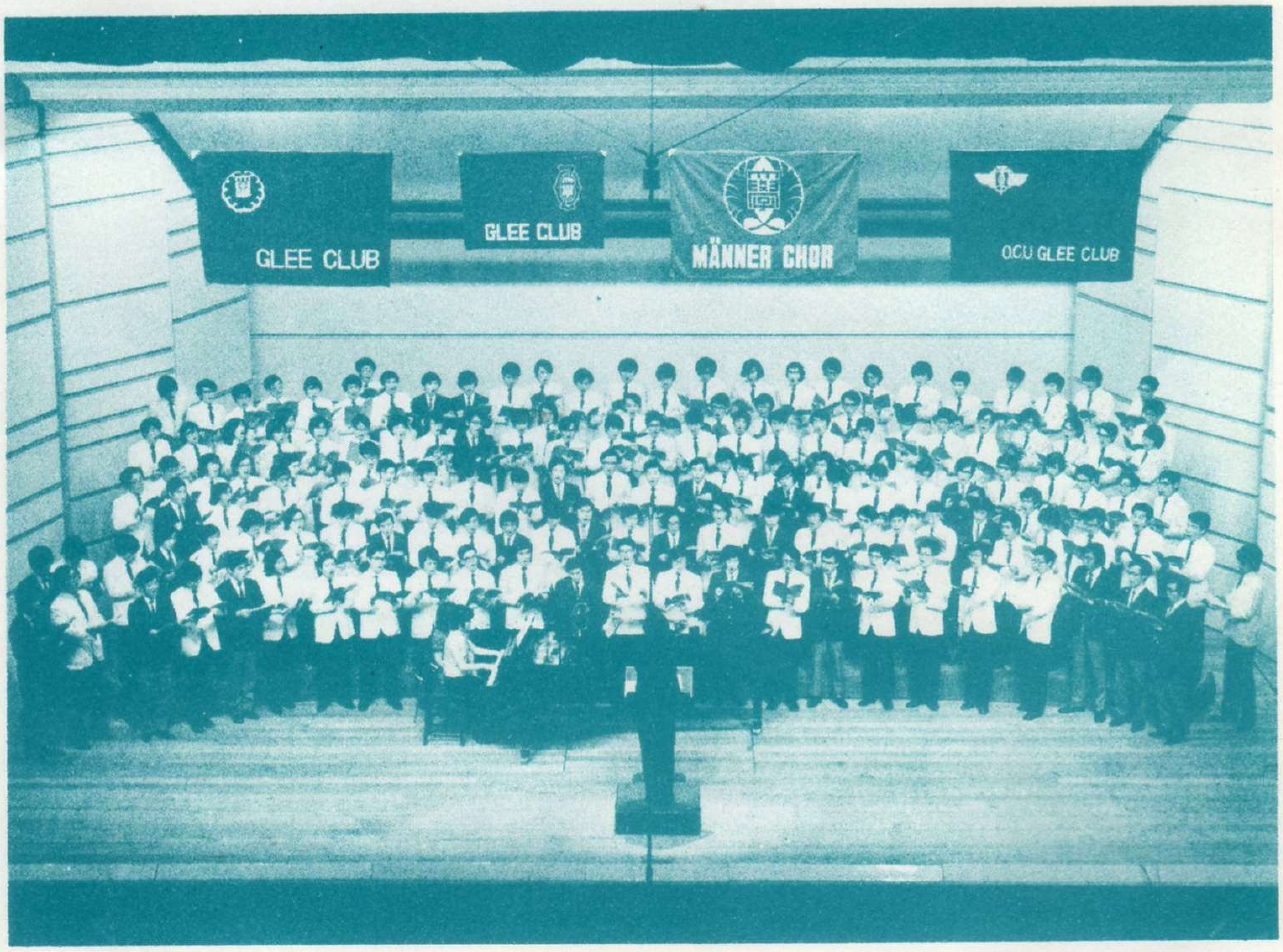
第11回大阪四大学交歓演奏会

大阪市立大学GC
大阪府立大学GC
大阪外国語大学GC
大阪大学男声合唱団

大阪四大学
第11回交歓演奏会



ごあいさつ

本日は御多忙の折、第11回大阪四大学交歓演奏会に御来場下さいましてありがとうございます。昭和37年に第1回が毎日ホールで催されて以来、途中に中断もありましたが、会を重ねて11回目となりました。私達は、地理的に近距離にありながら、意外と交流の場というものが持てないのが現状です。そこで、新入部員も一段落した6月に毎年集まることになりました。四大学ある意味で競い合い、一方でまた一体となることは意義あるものと考えています。今後も真の交流というものを求めて努力していくつもりです。また、今回は合同演奏曲の指揮者に神戸中央合唱団の根津弘氏をむかえ、練習を重ねてまいりました。今日は懸命に練習した成果を皆様に御披露できると思います。どうか最後までごゆっくり御鑑賞下さい。最後に、この演奏会の開催のため、御尽力下さいました関係者の方々に心からお礼申し上げます。

プログラム

エール交歓

I 大阪市立大学 グリークラブ

指揮 海谷叔伸

「ロシア民謡」

○母なるボルガのほとりにて
○カリンカ
○コサックの子守歌
○トロイカ
○ボルガの舟唄
○カチューシャ

II 大阪府立大学 グリークラブ

指揮 正木 仁

「柳河風俗詩」

作詞・北原白秋
作曲・多田武彦

○柳河
○紺屋のおろく
○かきつばた
○梅雨の晴れ間

休 憩

III 大阪外国語大学 グリークラブ

指揮 松尾航一

The Negro Spirituals

○Crucifixion
○Swing Low, Sweet Chariot
○Ai'-a That Good News!
○Were You There
○Ride Tde Chariot

IV 大阪大学 男声合唱団

指揮 本城正博

「日本民謡集」

○ソーラン節
○松前追分本唄、後唄
○遠島甚句
○ピリカ、ピリカ
○最上川舟唄

V 合同曲

指揮 根津 弘

男声合唱の為の組曲「子供の國」

作曲・平吉毅州

○白熊子熊
○雪女
○ちいさな、ちいさな水車
○子守歌
○サヨリ

1 ロシア民謡　　大阪市立大学グリークラブ

白樺とはてしなくひろがる銀世界、モスクワでの夢の世界にもでてきそうな宮殿、ロシア民謡を聞くと何んとなくロマンの国を思いうかべてしまいます。
〔**母なるボルガのほとりにて**〕……17世紀後半農民達を（農奴制の重圧から）解放するために反乱をおこしたステパン・ラージンについて歌った歌です。
〔**カリンカ**〕……カリンカとはカリーナという植物の愛称で、花嫁にたとえられることからロシアでは結婚式でよく歌われました。

〔**コサックの子守唄**〕……ゆりかごに眠るわが子にやさしく歌う農民の子守唄です。

〔**トロイカ**〕……(トロイカとはロシアの三頭立ての乗用馬車のことです。日本では、恋人のもとへ急ぐ若者を歌ったように思われていますが、実は地主に恋人をとられた若いトロイカの馭者の悲しみを歌ったものです。

〔**ヴォルガの舟唄**〕……古いロシアではヴォルガ河を舟曳き人夫を使って上流にのぼりましたが、その労働は苛酷で半奴隷的でした。これはその苦しみを歌ったものです。

〔**カチューシャ**〕……恋人を戦場に送り、故郷でその帰りを待つ娘が、その恋人を思いながら歌う愛の歌です。

2 男声合唱組曲「柳河風俗詩」　　大阪府立大学グリークラブ

我が国に今日「詩」とよばれる文学が生まれてから約一世紀になろうとしている。その間に幾多のすぐれた先覚が現われたが、すでに詩史の上に定着し、詩神の祭壇にまつられ、ひときわ絢爛とした大きな光芒を放っているのが北原白秋であろう。

それはその格調のゆえばかりではなく、この詩人が君臨した詩的世界の広大さにおいてでもある。

詩人というものは、幼年時代に灼きついた自然の様相を、終生、作品の背景に亡霊のようにうろつかせるものである。古里は、多くの詩人を宿命的に色どっているようである。白秋においても彼の詩や歌をいろどるあの南国性の陰翳や気だるさや、湿度は、水郷柳川の風物に、よびさまされた幼年の感性の名残りではないだろうか。

「柳河風俗詩」は詩集「思い出」の中に収められている全23篇からなる作品で、発表当初は「柳河時花歌(はやりうた)」と題され、題名のように、郷里柳川の地方情趣を幼時の記憶に残る四季の風物に寄せてうたったもので、俗語や、方言のほか、俚謡の語句や、囃子詞なども盛んに取り入れられていて、民謡的な要素が強い。

さて、今宵は、この柳河風俗詩より、多田武彦先生の作曲による「柳河風俗詩」柳河紺屋のおろく、かきつばた、梅雨の晴れ間、以上四曲をお送りいたします。南国、柳川の持つ土着の激しいエネルギーとそして、その側面に流れる悲壮なまでの哀愁をも同時に感じていただければ、幸いである。

3　黒人霊歌　　大阪外国語大学グリークラブ

黒人霊歌は、その民族性の根源をアフリカに持つ極めて特徴的なアメリカ民謡だということができるであろう。アフリカ人という人種が、世界で最もうたうことが好きだといわれているロシア人に負けずおとらず、あらゆる機会に歌をうたう種族であるということと、楽器でないものを含めて、あらゆるものを打楽器としてたたいて、うたう伴奏にする（例えば、ここでT·Vのコマーシャルで、サミー・ディヴィス・Jr. がグラスを鳴らしたり、タップを踏んだりするスポットを思い出される人がいるかも知れないが）という、リズム感覚の本能的な鋭敏さが、奴隷制度という、想像を絶する悲惨な環境の中で、陽気ともいえるような数多くの歌を誕生せしめた原因であろう。今年でちょうど建国 200年を迎えるアメリカの歴史において、黒人達に、常に底辺での苛酷な生活を強いてきた人種差別、そしてその最も凝集した形としての奴隷制度。その奴隷制度の始まりが、代議制議会という極めて民主主義的なものの誕生と、ほとんど期を同じくするのはあまりにも皮肉な偶然である。あたかも奴隷の鎖を引きずらんがためにこの世に生を受けたとも思える暗く絶望的な日々を送る彼等は、死後の平和と安楽を約束するキリスト教に最後の光を見たに違いない。そして、その深い信仰からくる喜びを、この霊歌にこめてうたったのであろう。黒人霊歌は彼等の魂の叫びである。このことを我々は決して忘れてはならないだろう。

4　日本民謡集　　大阪大学男声合唱団

民謡とは、郷土の民衆の間に自然発生し、伝承されてゆくうちに、その生活感情を素朴に反映した歌謡です。仕事の場、踊りの場、祭りの場などで大勢の人々が声を合わせてうたった唄、つまり大衆の心であり声なのです。合唱曲として編曲された日本民謡にも、こぶしの効いた素朴で哀しい響きが、漂っているように思われます。

今宵のステージでは私達は日本民謡を歌う事に大きな喜びと誇りをもって、精一杯、日本人の心と哀愁を表現してみたいと思います。

〔ソーラン節〕……この唄は、北海道西北部沿岸のニシン漁に際して、枠網の中へ追い込んだニシンを大きなタモ網を使い沖で船に汲みあげる時に歌われる作業唄です。日本民謡では代表的な合唱曲で編曲も多数あります。

〔松前追分本唄、後唄〕……江差追分ともいわれ、信州に伝えられた山の馬子唄が、北海道の松前に運ばれて変転の末、北海の汐の香漂よう海の追分節となりました。

〔遠島甚句〕……遠島は牡鹿半島の端、金華山沿岸方面の地名で、三陸漁場の中心地です。　日本一の漁場を代表する海の歌にふさわしいひきしまった豪快な曲調をもっています

〔ピリカピリカ〕……アイヌ民謡として有名な曲です。歌詞の意味は、おおよそ次の通りです。「今日は良いお天気だ、どなたが好き、選んであげよ。」

〔最上川舟唄〕……日本三急流のひとつ最上川において酒田通いの舟頭達によって下航の際に歌われた舟唄がこの合唱曲の原曲です。艫職の他に二人の漕手が、一瞬の休みもなく最上の奔流を突き切ってゆく舟の舳先での掛声、その掛声の合い間に悠長に流れる追分調の舟唄は、魅力的です。

5　男声合唱の為の組曲「子供の國」　四大学合同演奏

青春を唱おう！……　　客演指揮者　根津　弘

比の度、ひょんなご縁で四大学の合同演奏を指揮することになりましたが、私にとって 150人もの男声合唱を振るのは初めてなのです。こんな楽しいことはないと本番をまちわびております。

本日演奏いたします〝子供の國〟は私の最も好きな作曲家であり、親友でもある平吉毅州氏の青春の記念碑とでもいうべき合唱曲の処女作なのです。同時に私の想い出ふかい曲なのです。学生時代の私が初演をしようと取り上げかけながら多田武彦氏に委嘱した〝中勘助の詩から〟と重なってしまい、リサイタルに邦人作品が二つも演奏されるプログラムなんか考えられない頃でしたから、この曲を遂に断念したのでした。それからというのは、いつかチャンスがあればやりたいと思いつゞけてきたのです。

ですから私にとっては20年ぶりに息吹きをとりもどした青春を発散できるわけです。平吉氏と私の青春が四大学の皆さんの青春で再現できることに私自身、私の青春の再確認をしたいと思っています。

今宵は思う存分唄って下さい。指揮棒と諸兄の間に青春の火花をちらそうではありませんか!!

「子供の國」と友ふたり　　平吉毅州

私の高校時代の友人に林朝雄という男がいる。今でも社用で上京して来ては私の家を宿舎代りに使ってくれているが、彼が関学グリーのパートリーダーとして鳴らしていた頃、男声合唱曲を書くようにとしきりにすすめてくれて、おっかなびっくり書いてみたのがこの曲。当時（昭和32～33年頃）の関学グリークラブでは一つの黄金時代であったようで、うたってもらえるのを大いに楽しみにしていたのに彼の在学中は陽の目を見ず、卒業後北村協一氏の棒で初演。実に見事な演奏であったのを憶えている。

その後、林君の同じ関学時代の友人根津弘氏と知り合って、彼の本拠地神戸中央合唱団とは今や浅からぬお付合いの間柄。この根津という人、今夜は宿直や、といってはちょくちょく真夜中に電話をしてくる悪癖の持主であるが、何かにつけて私を引き立ててくれる有難い人でもある。

今宵、大阪四大学の若い皆さんと一緒に演奏してくれるとの事、青春の未熟な落し子にどのようなおべべを着せて見せてくれるのか………。ときめきとうしろめたさにうちふるえながら、とどのつまりはしみじみと幸福なのであります。

指揮者紹介

根　津　弘

昭和34年　関西学院大学卒業
現在　神戸中央合唱団副指揮者
兵庫県合唱連盟理事
読売テレビ勤務

市大

〈某市大グリーマン下宿での悲劇〉

桜が咲き乱れる春、希望に胸をふくらませてキャンパスを往来する新入生。この頃、市大グリーも冬眠から目覚め、寝ぼけまなこで春の陽気に浮かれつつ、新しい獲物はどこかにいない？と、キャンパスを動き回る。

さて、この悲劇は、新入生の入学手続きの日の夜に起った実話である。一日の獲物探しに疲れたグリーメン2人は、某クラブ所属の1人を連れだって、市大近くの某グリーマン下宿を訪れた。「おい！おるか？」「おるぞ。なんじゃ？」「やっと4人になった。やろや！」「やろか。」（机と本箱（それらは全くその用をなしていない）がひしめく三畳の部屋で、コタツを囲んで話がはずんだ。「どや、獲物はみつかったか？」「去年並みやな。それポンや。」「今年は去年よりエサまいたのになあ。」「ぱっとせんな。それロンや。ダブ東2こで満貫や。」（2時間ばかりして、戸をノックする音が聞こえた。）「はい、どうぞ！」（戸が開く）「あのー、僕今年からこの下宿でお世話になります○○です。これパチンコで勝ったのだけど、どうぞ。」（クラッカーを差し出す）「これからもよろしくお願いします。」「これまたええ心がけや。こっちに入っておいでや。」「わあ、すごい手ですね。」「そうやろ。リーチ！」（1人入って三畳の部屋が、男臭さとタバコの煙と下宿人の○で部屋の中がますますくもってきた。）「クラブ何に入るんや？」「まだ決めてません」「グリーに入らんか？」「グリーてなんです。」「男声合唱や。男ばかりやけど合ハイも多いし、彼女もすぐできるで。」（言っている本人に、彼女はいない。）「でも、僕音痴だから。」「そんな気にせんでええ、俺もやっとる。」「考えときます。」「グリーに入らなこの下宿追い出すぞ！」こんなやりとりをして2時間後麻雀は終った。それから一週間後、その新入生は、グリーの部室で大きな口を開けていた。………〈教訓—玉を入れるのもほどほどに！〉

大阪市立大学学生歌

一、聞けや大和の清流に
久し歴史の足音を
今にないゆく若人の
果てぬ希望の前進を
吾等つくさんその使命

二、見よや明けゆく日の本の
自由の光照らす世を
叡智にさゆる眼もて
そびゆる科学の殿堂に
吾等究めんその真理

府大

ようこそ皆さん！お元気ですか。府立大学グリークラブです。新入生達も入部して三カ月たち、今は胸をドキドキさせて出番を待っているところであります。彼らが、歌に対する異常な熱意から入部したのか、それともコンパ、女子大との合ハイ、先輩のおごり（3、4回生はこのためいつも金欠状態。あゝむなしい!!）に誘惑されて入ったのかはともかくとして、少なからず我が部の内状を知ったことでしょう。我々は練習が終れば、構内であろうと駅前であろうと所かまわず歌いまくるという変な癖の故に、いつも学友から「気違いグリー」の悪口を甘んじて受けているのです。しかしながら最近は、この伝統を無視して麻雀その他に夢中になる者が、続出していると言わねばなりません。さて我々の部室は、池のほとり、桜並木のそばにある建物の一角を占めています。こう言うといかにもロマンチックに聞えますが、大学の部室なんぞゴミだらけという通念にたがわず、我が部も例外ではありません。きれいになるのは、新入生の入ってくる四月と演奏会の後くらいなものでしょう。

ところで現在部員は、三十数名であり、個々のメンタリティーは、種々雑多なるものの歌好きという点では一致しているように思われます。全く歌こそは《それが合唱曲であろうとナツメロ又はスプリングソングであろうと》我々の学生生活そのものなのです。コンパなどでそんな歌を歌いながら、酒の強い奴が、日頃の先輩後輩何ものかとばかりに、ビール一杯飲んでもハアハアと息づかいの荒くなる上級生にしつこく飲ませているのを見ると、おかしさというかその反面物悲しさとかいう感じを抱かざるを得ないのです。ある人曰くグリークラブ卒団すれど、学部卒業成り難し」まさしく至言であると言えましょう。

本日は演奏会に御出席を賜わり誠にありがとうございます。どうか最後まで存分にお楽しみ下さい。

大阪府立大学学生歌

一、朝陽に光る海原の
風さわやかに吹きなびく
河内野原にそびえ立つ
我が学舎のその名こそ
大阪府立
いざいざ栄あれ
我等の大学

二、真昼の陸の常盤木に
百舌鳥たからかに鳴き渡る
古き歴史の跡にして
我が学舎のその名こそ
大阪府立
いざいざいざ誉あれ
我等の大学

外大

スパークリング・ワインなる言葉を何処かで聞いた。無数の小さなスパークをプチプチと自動的に発するワインのことだろうから、シャンペンの言い換えに違いない。

スパークリング・ハーモニーなる言葉はまだ知らない。スパークを発する様なハーモニー。内にこもった生命の力がスパークする如くに聴く者の耳に達する様なハーモニー。単なるムードではなく緊張関係にある音の調和、互いに主張し合う音の集まりとしてのハーモニー。

大学合唱団の衰退が叫ばれてから久しい。優等生すぎるのだという。どんなに上手に歌われていても、喜びや哀しみといった原初的なものが伝わって来ないのだという。何故なのだ？

声を合わせ心を一つにして歌うからハーモニーができるのではない。自分の音を主張し合うからハーモニーができるのだ。ハーモニーという言葉に振り廻され、汲々としていたのでは何も生きたものが伝わらない。『自我の拡大』の境地に到達し、ハーモニーに酔い痴れることのできるのは強固な自我を確立したものだけである。『孤独な感情が触れ合うところに音楽が形を表わす。』と武満徹氏は言う。

今宵も吾々は黒人霊歌を取り上げる。黒人霊歌を世界有数の民俗音楽の地位に押し上げたのは、強烈な自己主張の意志であり、自由に対する欲望の匂う様な表出に外ならない。黒人霊歌のスパークは彼らを根こそぎの状態に放置していたアメリカ白人文化への鋭い異議申し立てのスパークであった。根こそぎにされ絶望の暗い淵から送り出した主張であるからこそ、黒人霊歌には生命があふれていた。

そんな生命力あふれるハーモニー、聴く者の耳に喜怒哀楽の感情がキラキラと伝わる様なハーモニーを創り出してみたい。

大阪外国語大学学生歌

Gaigo Will shine tonight
Gaigo Will shine !

Gaigo Will shine tonight
all down the line !
Gaigo will shine tonight
Don't they Look fine !
When the sun goes down
and the moon comes up
Gaigo will shine,
Gaigo will shine !

Varsity
Varsity ! Varsity !
Osaka Gaikokugo Daigaku !
Praise to thee we sing,
Praise to thee our alma mater
U. Rah Rah !
Osaka Gaidai !

阪大

みなさん今晩は。阪大男声のアマガエルです。ポカポカ陽気に穴から顔を出すと聞こえてきましたなつかしい歌声が。小生が親しみはじめて早や数年、いつ聞いてもバカデカイ声。冬眠から覚めるにはもってこいである。ひとつアクビをして耳をすますと、上級生に混って初々しい新入生の声が聞こえてきます。ナント今年は30数名が入団したとか。3年後が楽しみ。この新参者を含め総勢70数名の誇り高き男性メンは、昼は石橋キャンパス、夜は週2回ネオンまたたく十三の街にその異様な姿をあらわすのです。

ここ数年の傾向として高度経済成長時代の落し子が増え、個性豊かな団員が減っているとか。しかしそこは天下に名だたる阪大男声、突撃隊長のY氏、女狂いのK氏、マージャン狂いのM氏とまだまだ無形文化財が残っております。彼らが十三の夜に現われるや、数々の誘惑を振り切って、練習後の開放感を味わうまで、鬼の指揮者（別名死鬼者）のもとで、厳しくかつナゴやかな練習を行なうのです。

阪大男声には酒好きが多いのかコンパが非常に多い。(小生など人間なら暇を見つけて参加したいのだが。)新入生歓迎合宿、前期夏合宿、演奏会後のコンパ数回、大コンパに追い出しコンパと日本酒消費量を一手に引き受けているとか。コンパでは男の本性むき出し（クワバラ、クワバラ）もう一つの主要行事合ハイ。これがまた多い。男ばかりのムサ苦しい集団に一服の清涼剤を与え地方出身者には良き伴侶を見つけてやることが最大の目標。(しかし現実はキビシク4回生が他を圧倒しているのが現状だとか。アア恥ずかし）

今宵はこの支離滅裂な集団が新参者を守りながら一致団結してステージに立つことでしょう。ではもうしばらく穴で眠ろうかな。オヤスミナサイ。

大阪大学学生歌

一、生駒の嶺に朝影さして
緑風さやけき銀杏の木蔭
若きいのちは力あふれて
歌ぞおほらに望みはるけし
叡知の泉掬みてつきせず
ほこりあり真理の岡べ

二、浪速の浦に夕潮みちて
葦間にこもる遠きうつし世
古きいさをは今につたへて
讃えよ明日の栄えはてなし
思索の小径もとめてやまず
ほまれあり自由の岸べ

これからの各大学の定期演奏会予定

大阪府立大学グリークラブ第20回定期演奏会

日　1976年　12月13日（月）

場所　森の宮青少年会館文化ホール

大阪市立大学グリークラブ第26回定期演奏会

日　1976年　12月16日（木）

場所　郵便貯金会館ホール

大阪外国語大学グリークラブ第20回定期演奏会

日　1976年　12月18日（土）

場所　森之宮青少年会館文化ホール

大阪大学男声合唱団第24回定期演奏会

日　1977年　1月9日（日）
場所　大阪厚生年金会館大ホール

大阪四大学
第11回　交歓演奏会

1976．6．18
大阪厚生年金会館中ホール

大阪市立大学グリークラブ
大阪府立大学グリークラブ
大阪外国語大学グリークラブ
大阪大学男声合唱団

大阪四大学合唱連合委員

委員長　木村　豊（府）
普照裕一（阪）
坂上晴彦（市）
五十嵐強（外）

デザイン　松渕伸二

doll RECORD

P. A Sys em Planning
Record Plannig
Recording Studio
Concert Hall
etc……..

祝
第11回大阪四大学交歓演奏会
• 大阪市立大学グリークラブ様
• 大阪府立大学グリークラブ様
• 大阪外国語大学グリークラブ様
• 大阪大学男声合唱団様

関西合唱界のMemorial Bank
株式会社　京都サウンド・プロデュース
〒606　京都市左京区聖護院山王町14
TEL（075）751—0138

Technics V5

ビューティフルに成長するシステムコンポーネント

帰ったら、のっぽの熱演を。

原音のリアルな再生を追求して集まった、テクニクスのコンポたち。いま、話題のリニアフェイズスピーカを得て、新しいシステムの誕生です。自由な発展性を秘めた豊富なオフション群もそろえて、スタイルは使いやすいタテ型。コンサートが終って、部屋へ帰ったら、のっぽのコンポの熱演をどうぞ。

Technics V5 合計 169,000円	
Ⓐ F・G・サーボオートプレーヤ●SL-26	標準価格 33,800円
Ⓑ FM/AMチューナ●ST-7200	標準価格 29,800円
Ⓒ プリ・メインアンプ●SU-7600	標準価格 39,800円
Ⓓ スピーカシステム●SB-5000 標準価格32,800円×2本	(2本)標準価格 65,600円

別売品 (V5をシステムアップするアクセサリー)

①オーディオラック(タテ型)●SH-830	標準価格21,000円
②オーディオケース●SH-301 (1個)	標準価格 2,000円
③オーディオフック●SH-302 (3個1組)	標準価格 500円
④バナアームスタンド●LS-605-Y	¥4,830
⑤ステレオヘッドホン●EAH-300	標準価格13,500円
⑥アンビエンス・コントローラ●SH-3040	標準価格19,800円
⑦EC型単一指向性マイクロホン●RP-3540E	標準価格 7,800円
⑧ブームスタンド●RP-3033	標準価格11,000円
⑨マイクミキシングアダプタ●SH-3030	標準価格 7,500円
⑩カセットデッキ●RS-630U	標準価格54,800円

TechnicsV5はコンポーネントの組合せの一例です。
●オーディオラック〈タテ型〉はオーディオフック3個付です。
●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●この写真は別売のアクセサリーを組みこんだTechnicsV5のシステムアップ例です。